科目名：老年看護学援助論Ⅱ	必修	1単位(45時間)
(Gerontologic Nursing Assistance Theory Ⅱ)		

履修年次/時期：2年次　後期　　授業形態：講義

主担当教員：棚橋 泰之

主担当教員詳細：実務経験 看護師13年：実務経験および教育経験から老年期の疾患特性と看護が理解できるような授業を展開する。

担当教員名：石川 智子，石井一義，外部講師(認知症認定看護師)

学修目的	加齢による変化や障害をあわせもつ高齢者の心身に対して、生活を整える看護の考え方と援助の方法を修得する。 関連するCP：CP2,CP3,CP5,CP6　　科目No. KNz-215		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	－
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	－
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	① 高齢者の健康生活を支えるうえで、高齢者自身の持つ力を活かす看護について理解できる。 ② 高齢者に特徴的な症候・疾患・障害について、加齢の影響も含めた看護について説明できる。 ③ 治療(薬物療法、手術療法など)を受ける高齢者の看護について説明できる。 ④ 認知症を有する高齢者および認知症高齢者を支える家族等を含めた看護について説明できる。 ⑤ 終末期にある高齢者および高齢者を支える家族等を含めた看護について説明できる。		
授業概要	高齢者に特有な症状や疾患・障害に応じた看護、健康状態や受療状況に応じた看護について学習する。		
評価方法	定期試験 100点 評価に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】0.5時間 【復習】0.5時間		
教科書	①系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院		
参考書	授業・演習の中で適宜紹介します。		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之：3号館10階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp		

実施回	第1回	実施日	2026/09/08 (火)	時限	3	班	
授業計画	ガイダンス 老年症候群(1) ①老年症候群とは何かが説明できる。 ②老年症候群の分類が説明できる。	予習	教科書第2章A・Bを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加額数をする				
		キーワード	老年症候群				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第2回	実施日	2026/09/08 (火)	時限	4	班	
授業計画	老年症候群(2)急性疾患に付随する症候 ③熱中症の成因と治療・看護が理解できる。 ④脱水の成因と治療・看護が理解できる。 ⑤発熱の成因と治療・看護が理解できる。	予習	教科書第2章Bを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	非労作性熱中症、労作性熱中症、経口補水液、脱水症、BUNとCr比、発熱				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第3回	実施日	2026/09/15 (火)	時限	3	班	
授業計画	老年症候群(3)慢性疾患に付随する症候 ①浮腫の成因と治療・看護が理解できる。 ②睡眠障害の成因と治療・看護が理解できる。 老年症候群(4)ADL低下に付随する症候 ①排尿障害の成因と治療・看護が理解できる。 ②便秘の成因と治療・看護が理解できる。 ③嚥下障害の成因と治療・看護が理解できる。	予習	教科書第2章C・Dを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	浮腫、老人性浮腫、睡眠障害、尿失禁、夜間頻尿、便秘、不顕性誤嚥、嚥下機能検査、口腔ケア、嚥下訓練、				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第4回	実施日	2026/09/15 (火)	時限	4	班	
授業計画	老年症候群(5)ADL低下に付随する症候 ①廃用症候群とは何かが説明できる、 ②転倒の成因と治療・看護が理解できる。 老年症候群(6)フレイル ①フレイルとは何かが説明できる。 ②サルコペニアとは何かが説明できる。 ③フレイルの原因と治療・看護が理解できる。	予習	教科書第2章D・Eを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	廃用症候群、転棟スコア、フレイル、サルコペニア、低栄養				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第5回	実施日	2026/09/29 (火)	時限	3	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(1)脳血管障害 ①脳血管障害の病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③治療経過に応じた看護が説明できる。	予習	教科書第4章B①を読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	脳卒中の疾患分類、診断・治療、症状、治療経過、経過別の看護				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第6回	実施日	2026/09/29 (火)	時限	4	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(2)パーキンソン病 ①パーキンソン病の病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③治療経過に応じた看護が説明できる。	予習	教科書第4章B②を読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	4つの症状、重症度分類、薬物療法、アドヒアランス、日内変動、クリニカルパス				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第7回	実施日	2026/10/06 (火)	時限	3	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(3)高齢者肺炎・感染性胃腸炎 ①高齢者肺炎の病態生理・症状が理解できる。 ②高齢者肺炎患者に必要な看護が説明できる。 ③感染性胃腸炎の病態生理・症状が理解できる。 ④感染性胃腸炎患者に必要な看護が説明できる。	予習	教科書第4章Dを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				

		キーワード	肺炎の種類、原因菌、高齢者肺炎のメカニズム、診断・治療、気道クリアランス、酸素化、ノロウイルス、感染経路、予防策
授業形態	講義	担当	石川

実施回	第8回	実施日	2026/10/06 (火)	時限	4	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(4)骨粗鬆症・骨折 ①骨粗鬆症の病態生理・症状が理解できる。 ②骨粗鬆症患者に必要な看護が説明できる。 ③高齢者に多い骨折部位が説明できる。 ④大腿骨近位部骨折の治療経過が理解できる。 ⑤骨折の治療・看護の原則が説明できる。	予習	教科書第4章Jを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	骨粗鬆症の定義、成因、リモデリング、骨密度YAM、予防、高齢者に多くみられる骨折、治療の原則、大腿骨近位部骨折、ガーデン分類、クリニカルパス、看護の要点				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第9回	実施日	2026/10/13 (火)	時限	3	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(6)うつ、せん妄 ①高齢者のうつ状態の症状が理解できる。 ②高齢者のうつに対する看護のポイントが説明できる。 ③せん妄のリスク要因が説明できる。 ④せん妄を予防するための看護が説明できる。 ⑤せん妄発生時の看護が説明できる。	予習	教科書第4章B③、第2章B ②を読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	せん妄、dementia、抑うつ、うつ状態				
授業形態	講義	担当	石井				

実施回	第10回	実施日	2026/10/13 (火)	時限	4	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(7)前立腺疾患 ①前立腺肥大症の検査と診断について説明できる。 ②前立腺肥大症の治療と看護について説明できる。 高齢者の手術療法に対する看護 ①手術を受ける高齢者の特徴と術前管理について説明できる。 ②高齢者に特徴的な手術と援助について理解する。 ③術後合併症の予防と、援助について理解する。	予習	教科書第4章I⑤を読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	前立腺肥大症、前立腺がん、高齢者ゆえのリスク、意思決定、術前管理、術後管理、術後合併症予防				
授業形態	講義	担当	石井				

実施回	第11回	実施日	2026/11/10 (火)	時限	3	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(8)(認知症) ①認知症の定義が説明できる。 ②認知症の基本構造が説明できる。 ③認知症の診断・治療と予防について理解できる。 ④認知症4疾患の特徴が説明できる。 ⑤認知症患者に必要な看護が説明できる。	予習	教科書第4章Aを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	中核症状、BPSD、MMSE、SPECT、画像検査、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体、前頭側頭型				
授業形態	講義	担当	関口				

実施回	第12回	実施日	2026/11/10 (火)	時限	4	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(8)(認知症) ①認知症の定義が説明できる。 ②認知症の基本構造が説明できる。 ③認知症の診断・治療と予防について理解できる。 ④認知症4疾患の特徴が説明できる。 ⑤認知症患者に必要な看護が説明できる。	予習	教科書第4章Aを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	中核症状、BPSD、MMSE、SPECT、画像検査、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体、前頭側頭型				
授業形態	講義	担当	関口				

実施回	第13回	実施日	2026/12/08 (火)	時限	1	班	
授業計画	高齢者の疾患の特徴と看護(5)COPD ①COPDの病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③COPD患者に必要な看護が説明できる。	予習	教科書第4章Dを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	COPD、拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患、呼吸不全、在宅酸素療法、クリニカルパス				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第14回	実施日	2026/12/08 (火)	時限	2	班	

授業計画	薬物療法と看護 ①加齢に伴う薬物療法の変化を理解する。 ②服薬管理とリスクマネジメントについて説明できる。 ③薬物療法に対する援助について説明できる。	予　習	教科書第5章を読んで臨む。
		復　習	授業内容の整理と追加学習
		キーワード	薬物動態の変化、有害反応、看護師の責務、高齢者と薬の関係、アドヒアランス、多剤併用（ポリファーマシー）
授業形態	講義	担当	石川

実 施 回	第15回	実 施 日	2026/12/24 (木)	時限	3	班	
授業計画	終末期の看護 ①終末期の概念と晩年期の特徴について説明できる。 ②終末期の生き方や死の迎え方の意向について説明できる。 ③終末期の身体兆候について理解できる。 ④終末期の苦痛緩和と安楽のための援助について説明できる。 ⑤終末期の精神的苦痛に対する援助について説明できる。	予　習	教科書終章を読んで臨む。				
		復　習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	自己の死生観、ターミナルケア、緩和ケア、エンドオブライフケア、死にいたる経過の4類型、意思決定支援、症状マネジメント、日常生活支援、悲嘆				
授業形態	講義	担当	石川				